



ubuntuを自宅のパソコンに
インストールするためのガイド



必要なコンピュータの能力

基本的に、ここ1, 2年の間に発売された普通のPCであれば、問題なく動作する。

- CPU...ここ1, 2年に発売されたPCに搭載されているCPUであれば問題ない。基本的には、32ビット、64ビットのCPUであればOK。
- ディスク...空きが少なくとも4GB。できれば10GBほどあると望ましい。
- メモリ...最低256MB。快適に動作するためには512MB以上。
- グラフィックカード..、サウンドカード..たいていのものは動作する。事前にCDから起動して確かめると大丈夫。
- ディスプレイ...800×600はあった方がよい。理想的には1024×768以上。1440×900といった最近のディスプレイにも対応している。



もし、能力が足りなかったら…

- 買い換える
 - いちばん安直だが、確実な方法。できれば、中古機の方がよい。さらに、それを専用機とすれば理想的。
- 必要なパーツを買い足す。
 - メモリやディスクなどを増強すればかなりの程度能力を向上させることができる。
 - 最近ではメモリやディスクの価格も非常に安くなっているので、この機会にぜひ。
- ディストリビューション自体を変えてみる。
 - ubuntuには、軽量化されたバージョンとして、GNOME環境ではなくxfce(エックスフェイス)というより軽いデスクトップ環境を採用したものがある。
- ubuntuを入れた後、より軽量のアプリケーションを利用する。
 - 例えば、OpenOffice.orgの代わりにAbiwordを利用する、など。



周辺装置の対応

- USB接続されたディスクなどについては、基本的に問題なく利用できる。
- ただ、マルチメディア系の機器(TVチューナー、画像キャプチャボードなど)に関しては、対応していないものも多い。
- プリンタについては、基本的に対応はしているものの、今ひとつ対応が遅いものも多い。
 - メーカー側でドライバを配布しているものもあるので、そういったものをチェックするのも手ではある。
 - EPSONのほぼ全てのプリンタ、Canonの一部プリンタなど。
- スキャナも対応が分かれる。古いものであれば対応していることが多いが、新しいものについては対応していないものもある。



あると便利なもの

- パーティション操作のソフトウェア
 - ubuntuのインストーラでもパーティションを操作することは可能だが、市販品の方が安定している。例えば、Acronis Disk Directorなどがある。値段は4000円～。vectorなどのオンラインショップでダウンロード購入することができる。
- ポータブルHDD、またはUSBメモリ
 - システム全体をバックアップするのであればポータブルHDDを、データだけバックアップするのであればUSBメモリを使う。HDD、USBメモリ共にできるだけ大きな容量のものを選ぶ。価格は1～2万円。
- 外付けのHDD
 - 既存のシステムに影響がないようにするためには、外付けのHDDを買って接続し、そこから起動するようにするのも1つの手ではある。eSATA、USBタイプとも通常は利用可能だが、事前に確認しておくことが望ましい。



インストールの前に

• ディスクの空き容量のチェック

- もしWindowsと同じディスクに入れるのであれば、十分な空き容量があるかどうかをチェックする。ない場合、不要なアプリケーションを削除するなどして、空き領域を確保する。

• 周辺装置のメモ

- 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」を使って、機器をチェックしてメモする。ディスプレイアダプタやサウンドカードなどはメモしておく及安全。

• ディスクのバックアップ

- 念のためディスクをバックアップしておけば、いざというときにもデータを失わずに済む。

• ディスクのデフラグ

- Windowsと同じディスクにインストールする場合、空き領域を作るため、データをディスクの先頭側に移動させる必要がある。そのためにデフラグを行って、データを集める。



ubuntuのインストール方法

- Windowsと同じディスク上に、空き領域を作ってインストール。
 - 通常はこの方法を使う。Windowsを残しながら、ubuntuもインストールし、どちらかを起動時に選択して使う。
- Windows上に、Windowsの1アプリケーションとしてインストール
 - 8.04 LTSからは、wubi (ウービー)と呼ばれる手法を使って、Windows上の1アプリケーションとしてubuntuを実行させることが可能。
- あらかじめ作成しておいた空き領域、ないしは空きのディスクにインストール。
 - このやり方がいちばん安全ではある。
- 仮想マシンにインストール
 - 今回は触れないが、VMwareなどの「仮想マシン」ソフトウェアを使うことで、Windowsに一切手を触れることなく、ubuntuを実行することが可能。



インストールの前に、メモを。

- いくつか決めておくことが必要。
 - コンピュータの名前…ネットワークなどでつながっているコンピュータで識別用に使う。愛着のある名前をつけてみよう。Windowsで名前をつけているのであれば、同じものでもよい。
 - ログインユーザ名…英文字(アルファベット及び数字)である必要がある。あまり長すぎないようにすることが必要で、大体8文字くらい(まで)が目安。
 - パスワード…これは非常に重要。覚えやすくかつ忘れにくいパスワードにする必要がある(万一忘れてしまうと大変な手間がかかってしまう)。

必要であれば、インストール前にこれらをメモしておいた方がよい。インストールの過程で必要になる。パスワードを書き留めておいたら、それはインストール後には処分すること。



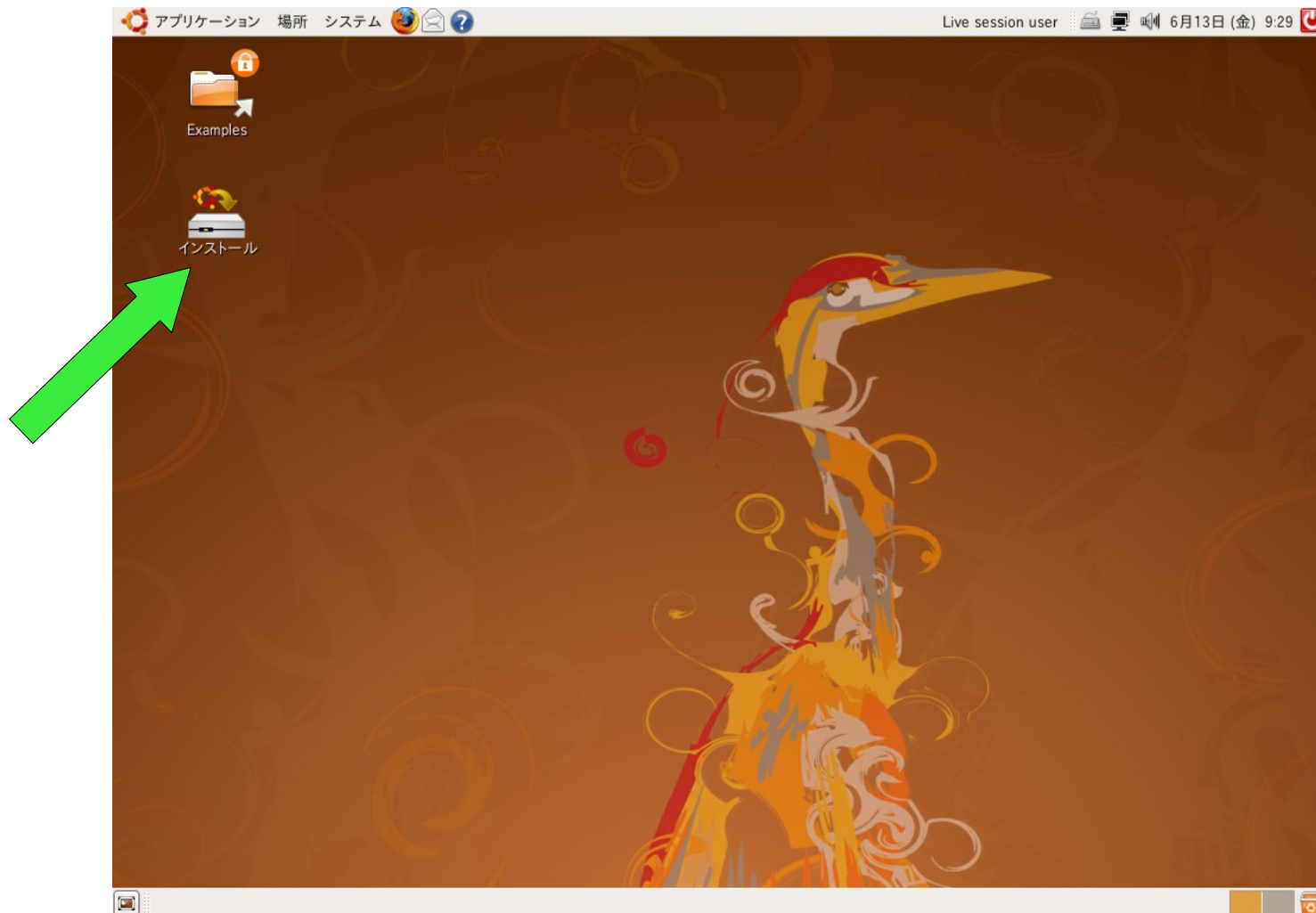
ubuntuのインストール

今回は、まっさらのディスク上にインストールする場合(最も簡単な場合)について説明します。このケースは、外付けのディスクドライブなどにインストールする場合もほぼ同じです。そのほかの方法については、後日、<http://ubuntu.u-aizu.ac.jp/> 上でご説明いたします。



CD-ROMから起動した画面

ここから「インストール」をクリック





インストール画面がスタート



「進む」をクリックし、次へ。



時刻(タイムゾーン)の設定

基本的にここは何も変更することはないので、「進む」をクリック。

Examples

インストール

インストール

インストール

どこで利用しますか？

あなたの住んでいる国と時間帯を選択してください。選択した後も表示されている現在時刻が正しくなければ、再起動後にインストールしたシステムで調整できます。



選択された都市: Tokyo

選択された地域: 日本

タイムゾーン: JST (GMT+9:00)

現在時刻: 09時31分36秒

ステップ 2 / 7

キャンセル(C)

戻る(B)

進む(E)

インストール

6月13日 (金) 9:31



キーボードの選択

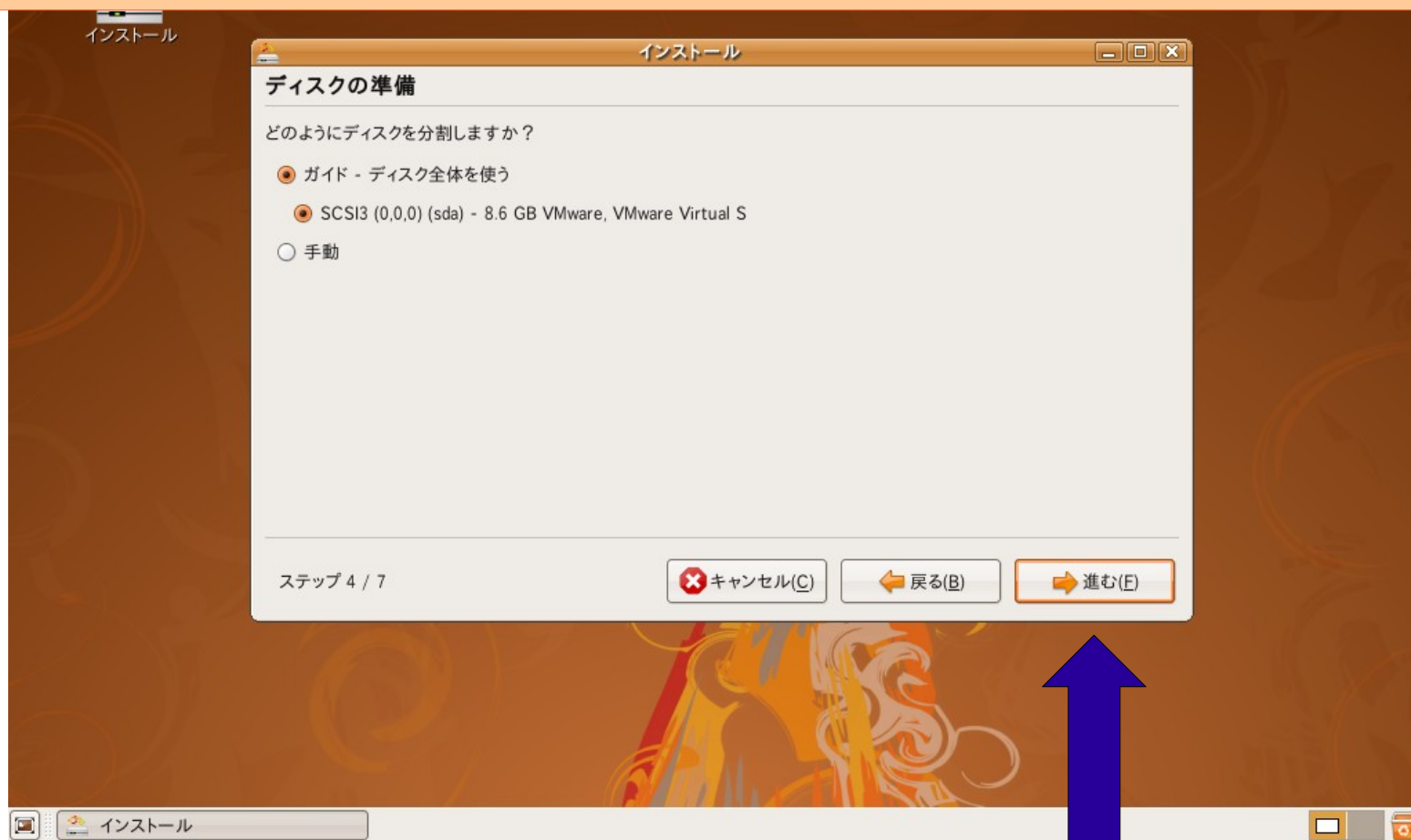
通常日本で買ったパソコンのキーボードを利用しているのであれば、そのまま「Japan」を選んで「進む」をクリック。





ディスクの準備

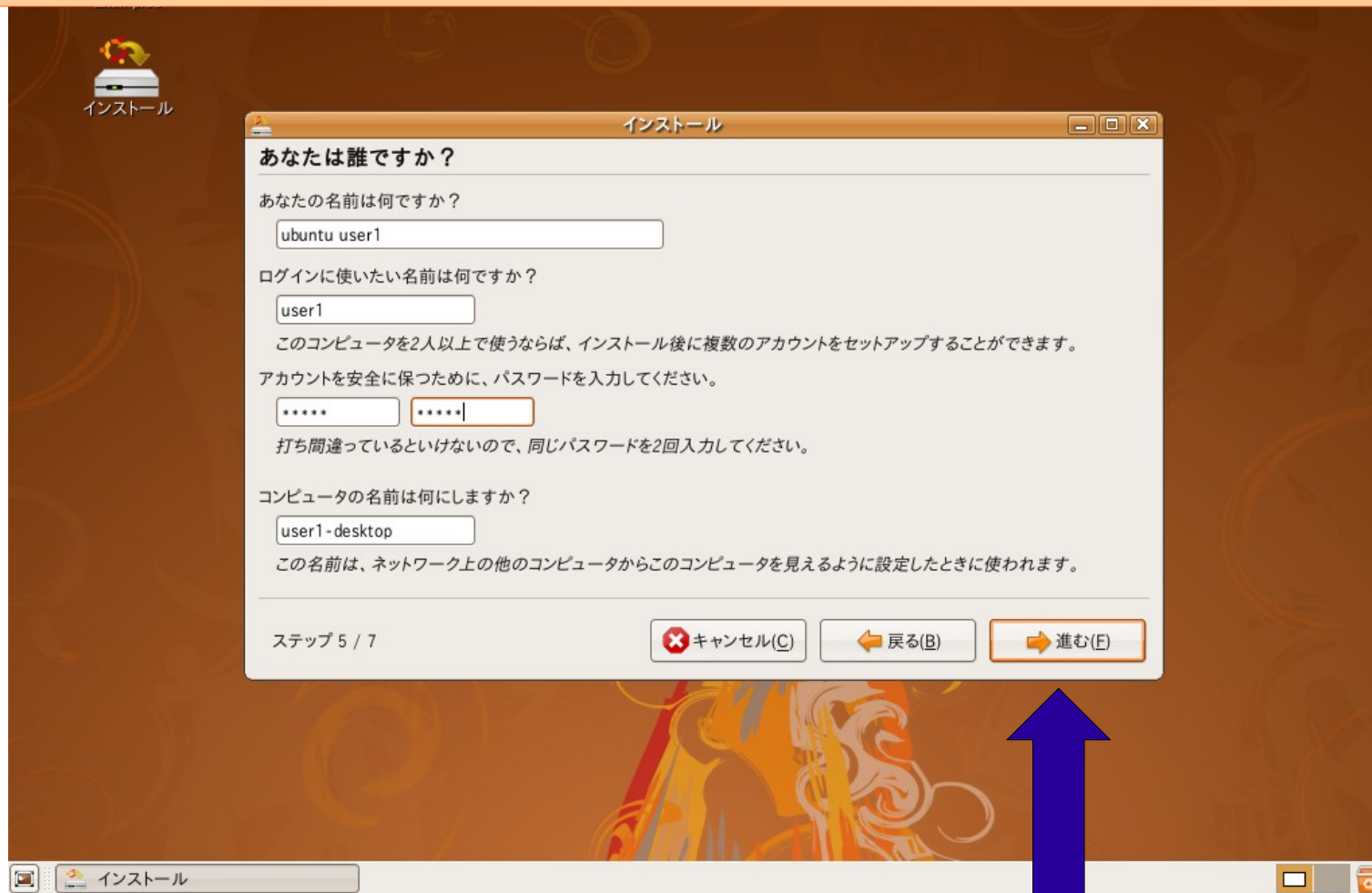
今回は、ディスク領域をすべてubuntuのために割り当てるので、「ディスク全体を使う」を選択したまま、「進む」をクリック。もし、手動でパーティションを割り当てる、あるいはWindowsから領域を割り当てる場合は、「手動」を選択する。





ユーザ名、コンピュータ名など

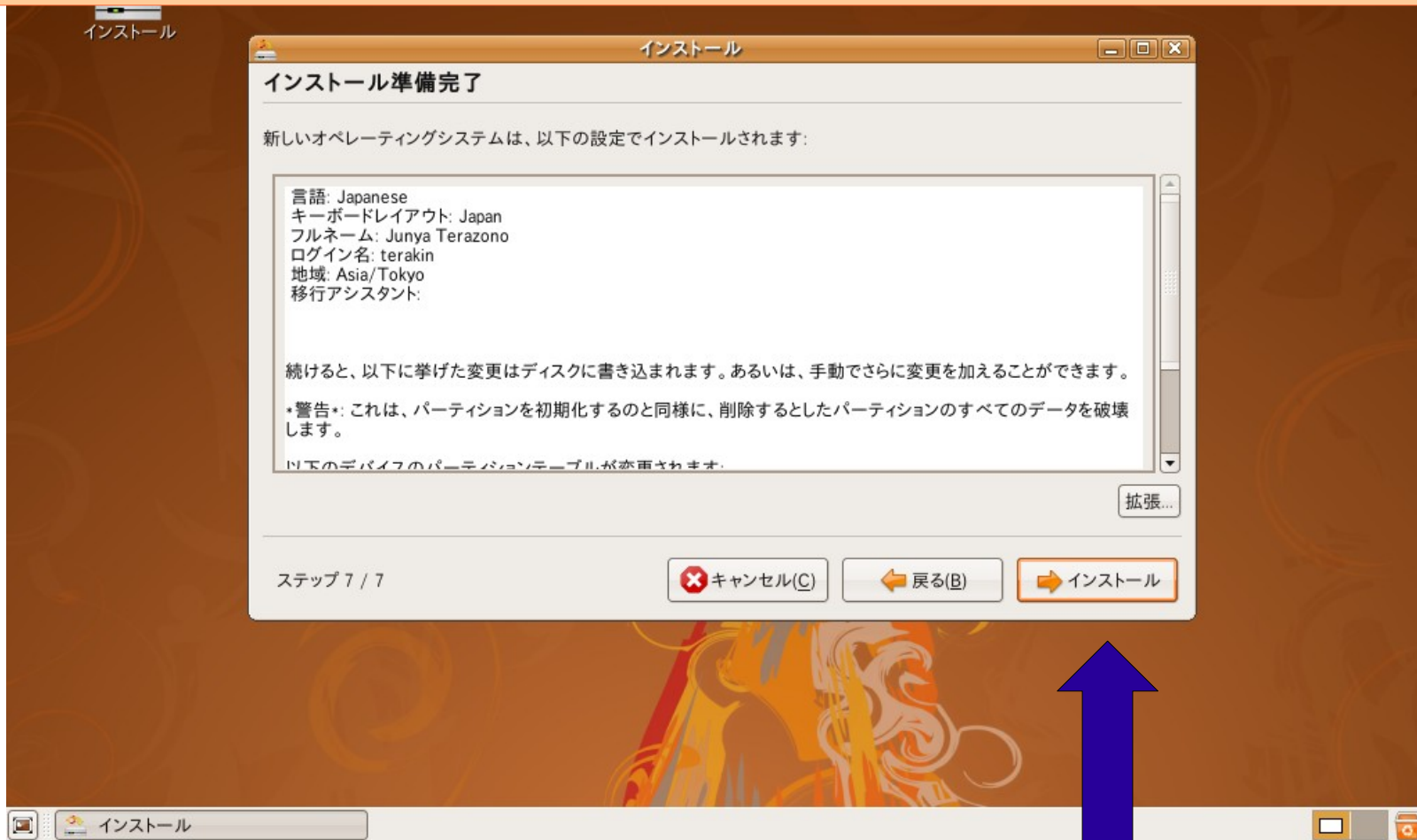
自分の名前、ログインの際の名前、パスワード、コンピュータ名を入力。なおすべて日本語は使えない。





これで準備完了

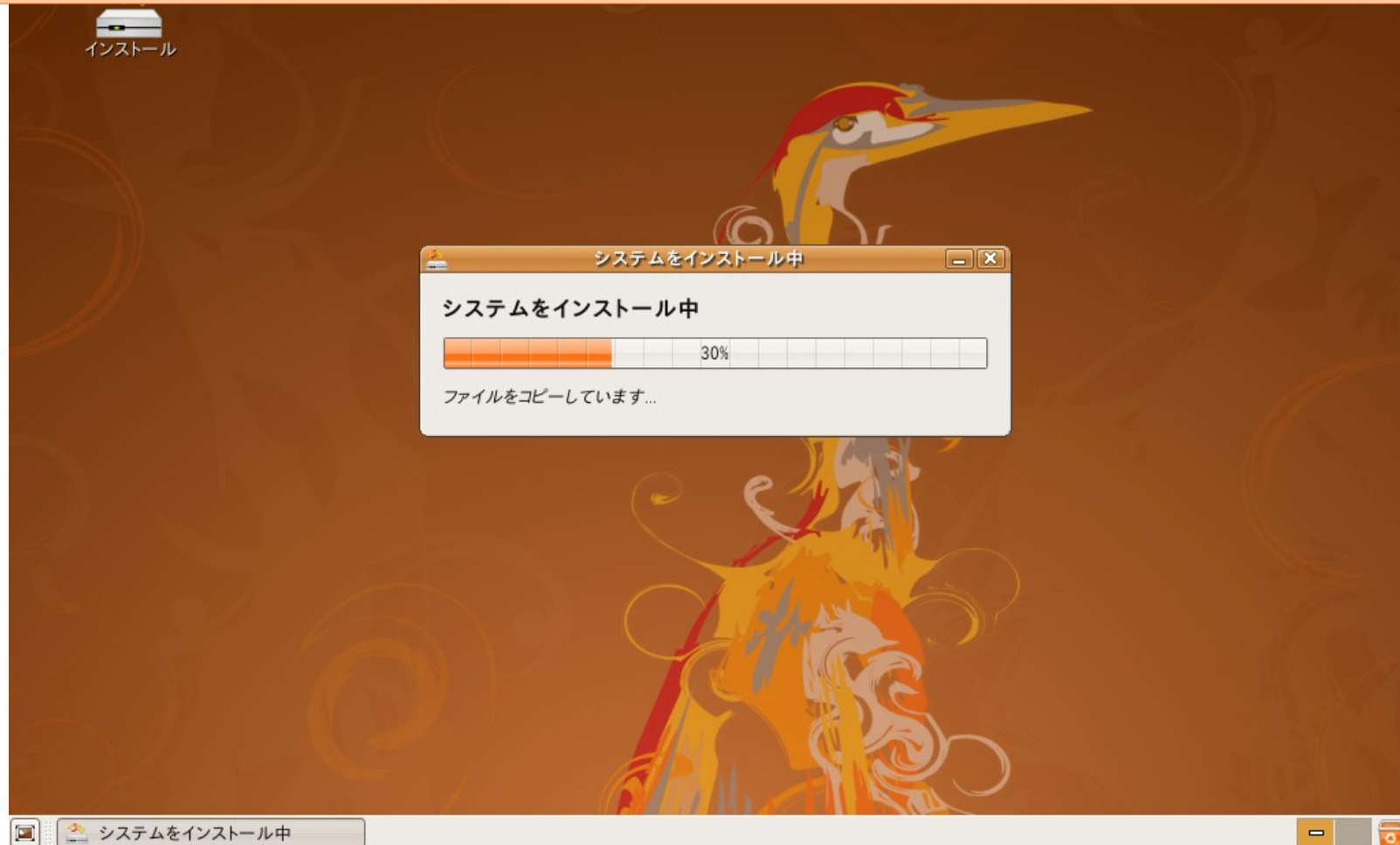
以上でインストールの準備は完了。すべてが正しいことを確認して、「インストール」をクリック。ここまでクリックは7回！
なお、このあとはやり直しはきかない。





システムをインストール中

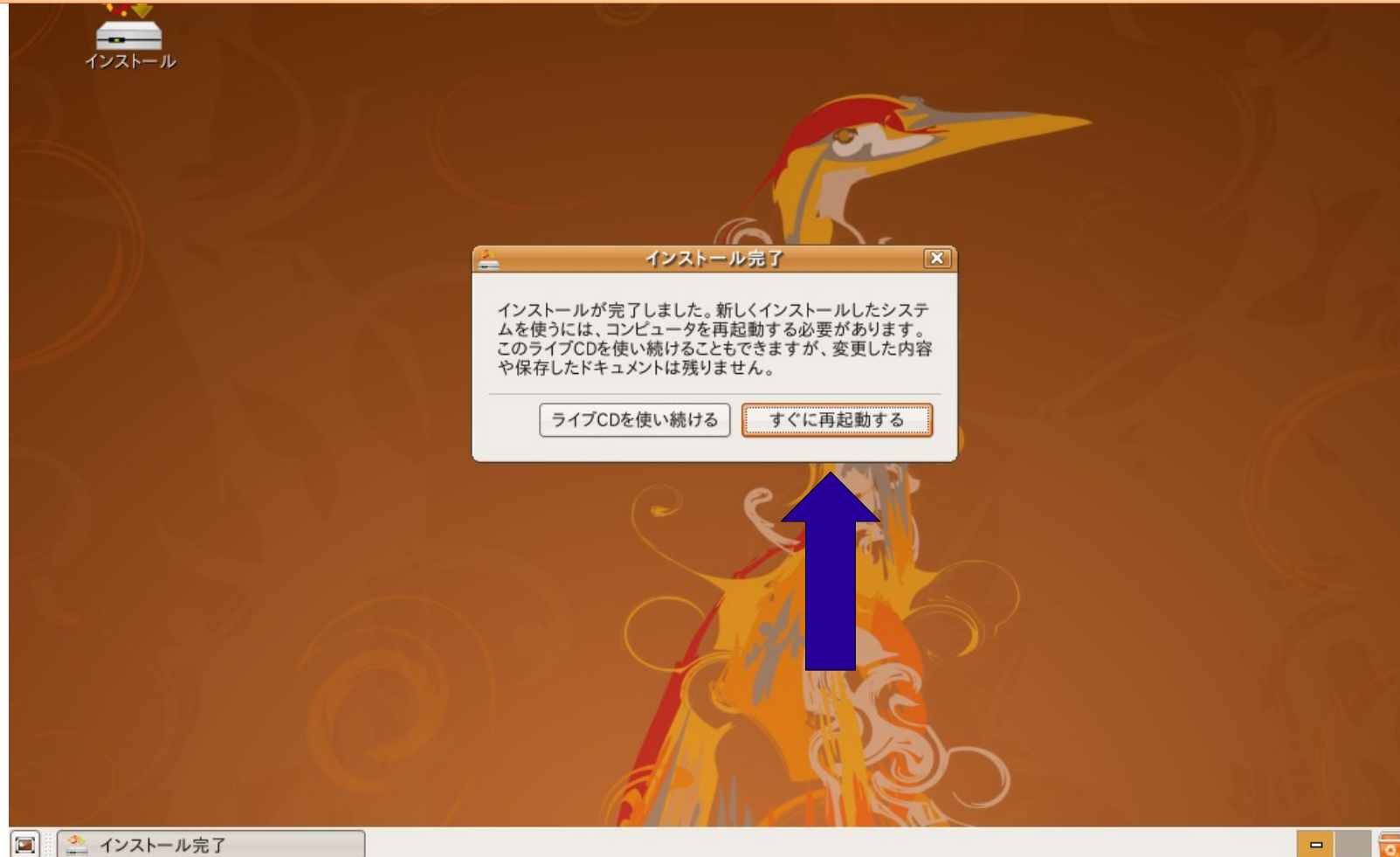
システムがCD-ROMからハードディスクにコピーされる。しばらく(数分～十数分)かかる。この間、デスクトップで作業をすることもできる。





インストール完了

インストールが完了すると、システムを再起動するよう促す画面が表示される。「すぐに再起動する」を選べば、コンピュータが再起動し、ハードディスク上からubuntuが起動する。





再起動

「再起動」を選ぶと、システムは終了する。図のような画面になり、画面下に赤いメッセージが出てきたら、CD-ROMを取り出し、Enterキーを押して再起動する。



Please remove the disc, close the tray (if any)
and press ENTER to continue



あとは…

再起動すれば、ubuntuをハードディスクから使用することができます。

システムが起動したあと、以下のような作業を実施することが必要です。

- ネットワークの設定(コンピュータがネットワークにつながっている場合)
- 画面の解像度の設定。モニタに合わせて、適当な解像度を設定することが必要。
- 周辺装置の対応(ドライバの導入、認識など)

あとはubuntuを心ゆくまで楽しんで下さい！



補足: もしCD-ROMから 起動しないとき

- パソコンの電源を入れ、すぐにCD-ROMを入れても、CD-ROMのubuntuから起動しない場合がある。
- これは、システムの起動の設定で、どの周辺装置から最初に起動するかの順番で、CD-ROMがハードディスクより先に設定されているため。
- この場合には、BIOSと呼ばれる、コンピュータのいちばんの基本部分の設定を変更する。
- 電源を入れたら、すぐに[F2]キーなど(コンピュータにより異なる)を押す。そうすると、BIOSの設定画面が出てくる。
- この「Boot Device」などのメニュー(コンピュータにより異なる)で、起動の順番をCD-ROMを最も高くする。
- 変更を保存して終了し、再び起動したときに再度CD-ROMを挿入すると、今度はCD-ROMから起動してくれるはずである。